



緑のカーテンの育て方Q&A

<p>昨年ゴーヤを育てたプランターで、今年もゴーヤを育てたいのですが、注意することは何ですか？</p>	<p>昨年ゴーヤを育てたプランターでは、土の栄養分が不足しています。有機肥料や化成肥料などをほどこす必要があります。また、土壌改良剤として、腐葉土を入れるといいでしょう。町田市剪定枝資源化センターで販売しているチップたい肥も、土壌改良剤として使えます。昨年のゴーヤの根などはなるべく取り除き、よく耕してください。</p>
<p>葉が黄色くなり、落ちてしまうのはなぜでしょうか？</p>	<p>原因はいくつか考えられます。下の葉から黄色くなる場合は、根詰まりの可能性があります。大きな鉢に植え替えましょう。そのとき根をいためないよう丁寧に扱きましょう。株全体の葉が黄色くなる場合は、肥料不足が考えられます。液体肥料、化成肥料などそれぞれの肥料の取り扱い説明書に記載された量を与えてください。</p>
<p>肥料は、どのくらいの間隔であれば良いでしょうか？</p>	<p>基本的には、葉色が薄くなったら肥料をあげるタイミングですが見極めが難しいので、2週間に1回程度市販の液体肥料を基準の倍率に希釈して、水やりの代わりにたっぷりとするのが一番簡単な方法です。化成肥料や有機系固形肥料(油粕、骨粉など)がご自宅にありましたら、それを使っても良いです。</p>
<p>実は、どのくらいの大きさになったら収穫できますか？</p>	<p>お配りしたゴーヤは、品種により収穫時期(収穫時の大きさ)が異なります。どの位の大きさになると黄色くなるか株ごとに確認していただき、収穫時期を見極めてください。</p>
<p>ネットからはみ出したつるの処理の方法を教えてください。</p>	<p>はみ出したつるは、ハサミで切り取りネットからはみ出さないよう管理するのが基本ですが、ネットの下や空いている方向に誘引して、ネット全体が葉で覆われるよう工夫してください。</p>
<p>水やりの方法を教えてください。</p>	<p>プランターの場合は、乾燥するので朝と晩2回鉢の底から水が流れ出すくらいたっぷりを与えましょう。地植えの場合は、土の表面が白くなったらたっぷり水やりしましょう。</p>
<p>台風対策の方法を教えてください。</p>	<p>ネットの張り方がそれぞれ違うので一概には言えませんが、基本的にネットの根元と上をしっかりと固定することです。園芸用の支柱でネットをしっかりと固定するのも一つの方法です。</p>
<p>実が黄色くなってしまいました。なぜでしょうか？</p>	<p>実が熟すと黄色くなります。熟す前に収穫しましょう。黄色くなってしまったら、来年用の種にしましょう。手でもてないくらい軟らかくなったら、種をよく洗い涼しいところへ保存して、来年5月頃撒いてください。</p>
<p>実や葉が虫に食べられてしまいました。農薬を散布したいのですが、何をすればよいですか？</p>	<p>農薬散布は、お勧めできません。虫が発生したら、手で捕まえます。ヨトウムシなど、夜に活動する虫もいます。虫はいないが葉が食べられてしまう場合は、夜に懐中電灯などを使って探してみてください。</p>
<p>枯れた葉は取った方がよいでしょうか？</p>	<p>病気のもとになり、見栄えもよくないので、取った方がよいでしょう。</p>
<p>プランターの深さは、浅くても大丈夫ですか？</p>	<p>深い方がよりいいですが、浅い場合は苗を1苗にした方がいいです。</p>



緑のカーテンの育て方Q&A

種の保存は、ビニール袋でも大丈夫ですか？	保存は、ビニール袋でも紙袋でも構いませんが、冷蔵庫の野菜室に入れることをおすすめします。 実は、赤くなって、良く熟してから回収してください。 ゼリー状のものは洗って、1週間くらい良く乾かすとよいでしょう。
実が10センチ位まで成長すると、黄色くなってしまいます。 どうしてですか？	お配りしたゴーヤは、10センチから15センチで収穫できる品種、一般的な20センチ前後の品種、色が白い品種などがあります。大きく育たないとしたら、小さな実のなる品種であると考えられます。黄色くなる前に収穫しましょう。 10cmに満たないサイズでダメになってしまうのでは、受粉が完全ではないことが原因ではないでしょうか。雄花の花粉を雌花に着ける、人工授粉をおすすめします。
不要になった土はどのように処分するのですか？	燃やせないごみとして、1回5リットル袋で1袋まで出してください。